



発行  
八尾市民生委員  
児童委員協議会  
会長 小林 有美子  
〒581-0003  
八尾市本町2-4-10  
☎990-4567  
編集 広報部会



水越にて

撮影者：木下広報部会員

目次

P1 ..... 表紙  
P2～6 ..... 特集  
P6 ..... わたしのライフワーク

P7～P8 ... 地区活動だより  
P8 ..... 表彰／座右の銘／あとがき



## 特集①

## 八尾市民生委員児童委員協議会総会

令和7年5月23日（金）八尾市文化会館プリズムホールにて令和7年度八尾市民生委員児童委員協議会総会が開催されました。

民生委員・児童委員の出席者142名、来賓として八尾市 植島副市長、八尾市議会 竹田議長、八尾市社会福祉協議会 角田会長、八尾市民生委員推薦会 谷岡委員長職務代理、八尾市健康福祉部 河野部長、八尾市こども若者部 辻内部長にご来賓頂きました。また、各出張所長にも来ていただき、議事をスムーズに進めることができました。



第3部 中尾竜二氏による記念講演

記念講演では、川崎医療福祉大学医療福祉学部 准教授 中尾竜二氏をお招きし、昨年度実施した民生委員・児童委員が活動しやすい環境整備に向けた検討会を踏まえて「民生委員・児童委員活動に期待すること」をテーマにご講演いただきました。

事例をもとに民生委員・児童委員として期待される役割や、民生委員・児童委員活動についてご講演があり、自分たちの住んでいる地域がより住みやすい地域になるためのポイントについて教えていただきました。

## 八尾市民生委員児童委員協議会ホームページの完成について

今年度から新しく幅広い方に見てもらえるよう、ホームページをリニューアルしました！

これからも民生委員・児童委員活動や民生委員（専用）ページを更新していきますので、ぜひご覧ください！ 掲載内容は以下をご確認ください。

## ○新しく掲載した内容

- ・活動紹介  
友愛訪問、はとぽっぽ（子育て支援）、定例会（委員同士の情報交換会）
- ・広報について  
風知草（平成29年度～令和7年度）のバックナンバー
- ・Q&A  
地域からよくある質問

## ○民生委員（専用）ページ

- ・活動資料（Word、PDF）  
不在票、個人情報取り扱いについて、緊急医療情報キット、見守り個人台帳
- ・動画  
民生委員・児童委員の制度、職務内容等について  
活動内容や関連資料について 等  
※このページはパスワードがあり、八尾市民生委員・児童委員に限定したページです。



ホームページQRコード

## 特集②

## 民生委員活動を振り返って

長年活動され、このたび定年を迎えられた委員に寄稿をご依頼しました。

高美中地区 北山 美恵子

コロナ禍の中、皆さんとの対話もままならない時期の3年は前向きに考えられず、訪問も気を遣いながらの期間でした。

今顧みると、担当地域の方々とコロナ禍の中で私なりに良い空間でのお付き合いができていたと思つていきます。一定の距離をおきながら、何かの折は話し相手になり、相談に乗ることができたと思います。何時も私が心掛けていたのは対話の時「転ばぬ先の杖」で、「小さなことも相談してください」と声掛けすることを忘れず、自分自身の行動に気を付けて地域を回らせていただいたと思います。この間に人と人とのつながりの大切さを実感し、とてもいい経験ができたことを感謝し、これからもあらゆるご縁を大切に過ごしていきたいと思つております。

成法中地区 谷本 光雄

このたび11年間続けてきた民生委員・児童委員を退

任致します。

新人の時は八尾地区で活動を始めました。思い返せば、何も分からない私に川崎委員長、清水副委員長に指導していただき、何とか努めることができました。しかし、両名ともご逝去されました。改めてご冥福をお祈り申し上げます。

新型コロナウイルスにより、活動を制限される中、地区割の見直しが行われ、成法中学校区地区が発足しました。

私は退任となりますが、これからは、若者たちの活躍に期待し、次の言葉を送ります。

道法自然

老子の言葉で人の歩むべきは自然の法則に従うべきで人為を加えてはいけないという意味です。私が中国の武当山に登ったときにその寺の修行僧に書いてもらった書です。

八尾中地区 岡本 清

11年前のある晩、見知ら

ぬ男性2人が自宅に来られました。

「民生委員になりませんか。用務は、月1回の会議出席と、懇親会の会費千円を払うだけです」とのことでした。それなら出来そうだと引き受けたのですが、それは誤りでした。

訪問先の人生の先輩達を前に何を話したらよいかわからず大変困りました。しかし、時が経過し、今では誰に聞いたのか若い人からも近所トラブルの相談電話がかかってくる。

これら私の成長の原動力となったのは、民生委員同僚、高齢者あんしんセンター、社会福祉協議会、市の福祉関係職員達と知り合えて、私から言わせればまさに天使のような人達の協力や助言があればこそでした。最後に「皆さん長い間有難う」

曙川中地区 川本 真記

子どもが小学生のころ、PTA役員をしていまし

た。その時に大変お世話になった方から15年前に民生委員・児童委員を引き受けてほしいと頼まれました。断り切れずにお引き受けしたものの、どんな活動をするのかほとんど知らず、それから勉強を始めました。

内容を知るにつれ、「大変な任務を引き受けてしまった」と身が引き締まる思いでした。しかし、地域の方から相談があれば、内容に応じて関係機関への「つなぎ役」になることが大きな役割と知り、本当に安心しました。幸い在任中は、大きな問題もなく過ごせました。地域活動では、ふれあい喫茶を立ち上げたことや、色々な活動に参加し、楽しい思い出がいっぱいです。

曙川中学校区の委員の皆さん、社協やサポートやおの方々には色々助けていただきました。無事に任期を終えさせていただき、本当にありがとうございました。

## 東中地区 今西 和雄

私は、令和元年に前任の民生委員から推薦され、同年12月1日付で委嘱を受けて2期6年で定年を迎えることとなりました。

振り返ってみれば、新任研修等が修了し、これから活動という時に新型コロナウイルスで1期目はほとんどの活動が制限されました。2期目に入り、コロナ禍も第五類に移行し、全ての活動が再開されましたが、令和5年8月に体調を崩し、しばらく入院したため、先輩委員に大変ご迷惑をおかけしました。

このような状況で6年を過ぎようとしています。が、民生委員として地域の皆さまに十分な活動ができなかったことを申し訳なく思っています。ただ、6年という短い間の活動でしたが1つ得たものがあります。それは、研修で先生が提唱された「助け上手助けられ上手」です。これは、民生委員が活動するうえで大切なことだと思います。

民生委員の定例会、地区福祉委員会、高齢者あんしんセンター、社会福祉協議会等の皆さまと協働し、地域活動ができたことです。

最後に、次期民生委員の方も快諾していただき欠員になることもなく退任できました。

短い間でしたが、ありがとうございました。

## 上之島中地区 小阪 美重子

会社を退社してすぐのころ、地域の役員の方から民生委員への就任のお話を頂きました。仕事内容を伺い、引き受けてから十数年、勉強の日々でした。

初めのころ、色々な研修や講習を受け、責任重大で幅広い役割に驚きました。幼児から高齢者までの地域の人たちとの関わりでは、教わることばかりでした。若いお母さん方とも関わるようになり、ようやく民生委員という仕事の全容を知ることができたように思いました。地域の人たちとの関わりでは、前職の力

ウンセリングの資格を活かすことができたように思います。

民生委員としてこのように活動し、自分自身が驚くほど充実した生活や行動ができたことに深く感謝しています。ありがとうございました。

## 龍華地区 森本 一

このたび、民生委員・児童委員を退任することになりました。皆さまには長年にわたり多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

民生委員としての活動を振り返り、地域の方々との協力し、地域住民の役員、関係団体の方々の温かいアドバイス等を参考にしながらどうにか役目を終えることができました。自分自身が健康で任期を無事に終えることができて大変嬉しく思っております。出会いと別れがつきものですが、自分にとって良い出会いがたくさんあり、皆さまと楽しく活動ができたことが1番

の喜びです。

退任後も1人の住民として今までの経験を活かして地域社会の発展を願い、活動に参加していけたらと思います。今後とも宜しくお願い致します。

## 竹洲地区 村井 俊子

「民生委員とは」の知識もほとんどないままに就任して6年。

コロナ禍で色々な行事や勉強会が減るという事もありましたが、この6年間何ができていたのか甚だ心もとない限りです。

そんな中でもひとり暮らしの方への訪問では、少し怖そうかなと思っていた男性が働いていた頃の仕事道具の説明をしてくださったり、時代もあったのでしゅうが結婚されてからの苦労したお話をしてくださったり、また季節の行事を大切に日々の暮らしを楽しんでおられる素敵な姿に感銘を受けたり、民生委員をお受けしていないから決してお触れ合えていなかったこと

でした。

先輩委員の方々の活動に対する姿勢も強く心に残ります。私を豊かにしてくれたそんな沢山の出会いに感謝です。ありがとうございました。

## 久宝寺中地区 高橋 庸介

「こんにちは、お元気ですか?」「ありがとう、元気です」「いつも見守りご苦労さまです。」

15年前、民生委員を引き受けてから続いている、地元地域での会話です。

前任の民生委員の方が、任期半ばで退任されることになり後任を引き受けてもらえないかと要請されました。民生委員という仕事があることは知っていましたが、まさか自分がするとは思っていませんでした。どんな仕事をしてよいのか分からず、本当は断りたかったのですが、月1回の定例会議に出席していただくだけで良いと要請され、引き受けました。

あれから15年、会議の出



席だけでなく、ひとり暮らしの方々の見守り、地域イベントへの参加、証明事務、老人会の世話等を通して、自分自身成長と生きがいを与えていただき、感謝しております。

後任の民生委員の方へのアドバイスですが、月1回の定例会議への出席は必須ですが、それ以外は何をどのようにするかは自身の才覚次第です。やりがいのある仕事です。よろしく願います。

#### 大正中地区 吉原 好則

少子高齢化の時代、私の住んでいる集合住宅の環境もずいぶん様変わりし、30余年経っております。民生委員の活動を通じてたくさんの方の事を学ばせていただきました。

ひとり暮らしの方を訪問するたびに、皆さまの明るさや、頼もしさを感じる事が多いです。逆にこちらの体調にお気遣いしていただきました。最近の夏の暑さは尋常ではありません

ん。どうぞ体調管理に気を遣ってますます健康寿命を延ばしていただきますように心より願うところです。

#### 西郡地区 藤岡 憲明

子どもの時に父親が訪問活動をやっていたのを、現在の民生委員活動と研修会で知り、父親を思い出しました。

民生委員になり、色々な研修会に参加し、私の心の財産になっています。民生委員を通じて、良き友人もできました。地域の少子高齢化などで民生委員活動も難しくなりましたが、やりがいのある活動と信じています。

これまで支えていただいた地域の皆さま、指導していただいた先輩委員に感謝をしています。これから地域で民生委員活動を行う方、やりがいのある活動なので、頑張ってください。本当にありがとうございます。

#### 高砂地区 前田 芳子

3年前、当時は元気でしたから、地域の方々と共に成長していきたいと民生委員活動を開始しました。

地元の方とは長年関わりがあり、訪問しても訪問しても話が弾み、時には子どもや孫の写真を見せていただいたこともあります。

活動の中で思い出に残った方はたくさんおられます。その中でも家族が誰もいなくなり、遠い親戚も高齢のため、訪問・連絡ができなかった人がいます。入院退院を繰り返し、長期入院をされたときには、平野区の病院まで見守りに行かせていただきました。その方の最期は、退院することなく、亡くなられました。

私がこの地域に移住した時は、若い人ばかりで、子ども会がたくさんありました。しかし、現在は高齢化により、以前より活気がなくなり、地域との関わりがなくなり、地域との関わりがなくなりました。どうにかしたいと思っていますが、私自身身体調が悪く、思うように

できません。

若い世代の方が民生委員・児童委員に就任し、新たな流れを作ってくださいることを願っています。

#### 高安中地区 齊藤 俊明

民生委員・児童委員の委嘱を受けました。

地域の自治会活動は、多少の経験はありましたが、民生委員・児童委員の活動には知識もなく、無縁でした。

最初は何もわからないことばかりで月1回の定例会で先輩委員の皆さまよりご指導いただきました。各委員担当地域での状況や友愛訪問・個別の事案などを話し合い、共有しました。また、友愛訪問以外での多くの話が出て、活動の広さを改めて認識しました。

民児協幹事会に出席しました。委員の皆さまの社会福祉への思いを強く感じました。今後私も微力ながら地域の為にできることは実行していきます。

これから益々少子高齢化

が進み、諸問題も多くなつて民生委員・児童委員の仕事も大変になってくると思います。今後、民生委員・児童委員を引き継いで下さる方は1人で抱え込まず、先輩委員の方々と行政の方と相談していただければと思います。

#### 南高安中地区 松村 俊一

民生委員になりたての頃、何ができるか不安でしたが、まずひとり暮らしの方々への自宅訪問から始めました。

また、その頃未婚の女性から昨年子どもが産まれて生活が不安なので生活保護の相談が有った時に先輩から教わりながら申請の手助けをしました。無事に受給されることになり、安心してもらえました。

老人ホームでの会議や研修会での内容が難しいこともありましたが、他地区の

民生委員と話し合うことがあり、色々と勉強になりました。

今後は退任しても個人的に近所のお年寄りや子どもたちの見守りを続けていきたいと思っています。

#### 曙川南地区 安井 栄一

肺気腫を患い、2期6年を以って民生委員を退任することになりました。

自分としては委員として自覚し、それなりに緊張感をもって活動してきたつもりです。

退任にあたり、少し気になることを述べさせてもらいたいと思います。

1つは、よく言われている事ですが、自治会との情報交換、連携が足りないと思います。

2つ目は、活動報告の提出率が低いと思います。毎年何人か表彰されていますが、活動報告は提出されているのか心配です。活動報告の様式が非常に書きにくく、自分なりに改良を加えながら行ってきました。

提出率が低い原因もそこにあるように思います。委員定数の欠員もそこに原因があるのかもしれない。

#### 志紀中地区 井内 恵子

民生委員活動を振り返って私に出来る事ではないと思いましたが、安心して暮らせる地域を作るために活動するボランティアだと

と委員を引き受けました。

その中には友愛訪問活動として65歳以上のひとり暮らし、寝たきり高齢者の自宅を訪問し、見守り活動を続けてきました。色々な悩みを相談してくださったことをアドバイスし、ありがとうの言葉をかけてくださったことが1番嬉しく思い出されます。

同じ考えを持った仲間がたくさんでき、16年間頑張れたことを、大変でしたが、心から嬉しく思い、感謝します。

日頃からお互いを気にかける地域であってほしいと、つくづく思います。私も少し成長できたかなと思います。怪我をして2年、今も病院通いです。こ

んな私に手を貸してください。さった方に感謝しています。

民生委員の仕事はやはり見守りです。ひとり暮らしの人がたくさんおられます、それも高齢者です。

今後は私が援けてもらう番です、よろしく願います。

## わたしのライフワーク

### 自分を大切に生きる

(久宝寺中) 松山 和彦

今回風知草の原稿依頼を受けましたが、私はこれといった趣味や人生テーマ・目的もなく、すごく悩みました。ダラダラとした生活をしている自分ですが役員をやり始めてからは、誰かの役に立ちたいと思い、自分なりに精一杯やってきたつもりです。

困っている方々に手を差し伸べるのもそうですが、良かれと思ってやってきたことにも否定され、反感をもたれることもあります。地域活動にも積極的に参加してきましたが、何のためにやっているのか、誰の為にやっているのかと自己嫌悪に陥ることもありました。もう1人の自分からもっと気楽にやったらと言われ、「そうだね、心に余裕がないと何もできないよね、心機一転し、残りの人生は趣味を見つけて楽しく過ごそう!もともとだらしく適当な性格なので、だからこそ健康に気を付けて長生きしなければ、栄養も取り、運動はそこで睡眠はどこでも寝れるので大丈夫、甘いものだけを食べ続けたら健康に悪い」と自分自身と過ごす日々を歩んでいます。

# 地区活動だより

## 龍華地区委員会 山下 隆子

### 「研修会・阪神淡路大震災に思いを馳せて」

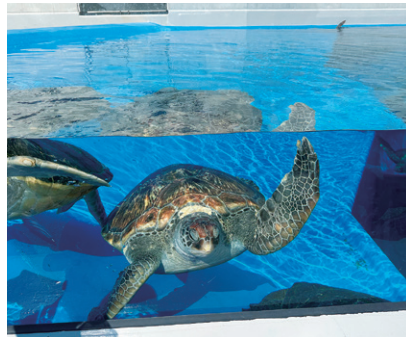
阪神・淡路大震災が直撃した場所にある「人と防災未来センター」に見学に行きました。

ここは30年前マグニチュード7の地震が発生し

6400人もの人命が失われるという被害のあった地です。それ故、展示資料も生々しく、また震災当時の映像や震災体験者の話などがあり、リアルで地震の



人と防災未来センター



研修後の交流

怖さをひしひしと感じました。もともと防災の知識を高めていかなければいけないと切実に感じましたし、民生委員として震災が起った時の動きなどもう一度改めて考えてみる良い機会になりました。

その後ランチで交流を深め、神戸須磨シーワールドで童心にかえり楽しみました。

勉強になり絆も深まりました。

## 上之島中地区委員会 倉角 京子

### 「北山本地区について」

高安山を望む北山本地区は、八尾市の北東に位置します。

ここ数年は上之島中学校区での研修が思うようにできずにおりましたので、今回は北山本地区で取り組んでいる子どもの見守りについての報告を研修だよりとさせていただきます。

まちづくり協議会のもとあいさつ運動、声かけ運動、青色パトロール、コスモス

子ども会が実施され、その1つあいさつ運動では「おはようございます」「いつてらっしゃい」と声を掛ける事で地域の大人が見守っているよと子どもたちに少しでも伝わればボランティアの努力が報われると思います。

最近では、多様化、複雑化、個人化し、子どもたちに接するのが難しいと感じるのは私だけでしょうか？ 私たち民生委員・児童委

## 竹湊地区委員会 奥野 龍治

### 「竹湊地区について」

竹湊地区委員会は亀井町と竹湊との協働エリアで中央環状線を挟んでの八尾南西部に位置する地域であります。地域住民との交わりは地区ごとに分かれておりますが、唯一竹湊コミュニ

ティセンター主催の合同イベントとして10月に「街並みを歩こう会」、11月に「グランドゴルフ大会」3月に「コミセン祭り」とたくさんの方の参加者で毎年大賑わいです。

余談ですが、私が子ど



ボランティアのあいさつ運動

員だけでなく、自治振、小地域ネットワークの皆さま一人ひとりの理解があつてこそ活動です。

ものころは竹湊小学校のみで、中学校は太子堂にある龍華中学校で、特に竹湊地区の子どもは歩いて40分以上かかりました。地区活動としては例年1月・8月を除く第1・第3月曜日に「河内音頭健康体操」第4月曜





ふれあい食事で楽しむ参加者

日に「ふれあい喫茶」を実施し、最大イベントとして正月に実施する小地域ネットワーク活動と老人会の合同イベント「お楽しみの集い」で参加者が100人程集まり、和やかなムードの中で楽しいひと時を過ごしていただきました。その他にも「地域フェスタ」「納涼盆踊り大会」「地域地蔵盆」等地域に根差したイベントの運営に携わっております。

何よりも大切なことは、地域で暮らしておられる方々の素顔を身近に接する活動が重要だと感じています。

## 表彰

# おめでとうござります

(※は退任者)

### ☆永年勤続市長表彰

(7. 5. 23)

#### ◎21年勤続表彰

和田 眞奈美 (八尾)

#### ◎15年勤続表彰

野村 彰子 (久宝寺)

#### ◎6年勤続表彰

北山 美恵子 (高美)

鶯地 真 (成法)

末澤 隆美 (八尾)

小森 治 (東)

武田 敏夫 (上之島)

米島 ゆかり (西郡)

坂川 由利 (高砂)

福田 好己 (曙川南)

高田 智子 (曙川南)

藤崎 千里 (志紀)

## 座右の銘

「やってみなはれ

やってみなわかりまへんで」

まず、やってみることを実践しています。失敗してもリカバリーできる時間があるからです。安心して、チャレンジ出来ました。

植村 幸永 (大正中地区)

## あとがき

今回の第84号をもちまして、第79号からの広報部会編集者として3年間の任期を終えることとなりました。定型の一斉改選後の、新役員の紹介から始まり、5月の民児協総会、「コロナウィルス感染症で停滞していた部会活動や、各々の地区の活動を紹介・掲載できたこと、執筆者の皆さまには、感謝しかありません。

今号は、この11月末で退任される方々の特集を初めとして、別の新たな試みで編集させていただきました。いかがでしたでしょうか？

皆さまには、これからも「風知草」に対するご意見、ご支援を頂くことをお願いし、新広報部会委員へバトンタッチしたいと思います。

最後に、事務局の皆さま、ありがとうございました。



## 予告

現在民生委員・児童委員の皆さまが活動する際に手助けとなるハンドブックを作成中です。

ハンドブックでは、「民生委員・児童委員とは」「活動記録とは」「関係機関一覧」「証明事務について」「民生委員・児童委員の任期、退任する時の手続き等について」を記載する予定となっております。民生委員・児童委員活動の中で、活用していただけたらと思います。



一斉改選に伴う就任状況についてですが、大阪府内の平均より八尾市の就任率が上回っています。欠員問題が全国的に課題とされている中、民児協・八尾市・八尾社協が協働した賜物です。